

# んぽん舗

ポツ



186号

2019年2月

【発行元】

石巻市NPO支援オフィス  
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63  
TEL・FAX 0225-23-3641  
MAIL : centerishinomaki@gmail.com  
http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/  
開館時間：月～金 10：00～20：00  
土曜日 10：00～18：00  
日曜・祝日休館日

毎月25日発行

NPOや市民活動に  
役立つ情報をお  
届けします。  
みなさまからの  
情報提供もお待ち  
しております。



## ピックアップんぽ

このコーナーは、毎月一人のNPOの代表者を取り上げ、その活動やこれからの目標について思いを熱く語っていただくコーナーです♪

登録番号164 一般社団法人ピースボートセンターいしのまき  
代表理事：山元崇央さん



### ○団体概要：

石巻市、女川町を中心に、東日本大震災後、より深刻化している人口流出や担い手不足による地域産業の撤退等の地域課題の解消、緩和を目的として活動しています。



### ○団体設立のきっかけ：

前身団体のピースボート災害ボランティアセンター(以下、PBV)では、東日本大震災の緊急災害支援として、石巻市では2015年度末まで活動していました。撤退が決まってから、地域振興の役割を担う「イマ、ココプロジェクト。」を継続していける方法はないか?と話し合った結果、新たな団体を立ち上げることになりました。

そこで、これまでの経験をもとに、石巻市が抱えている地域課題の解消に取り組むために、PBVから独立した石巻の団体として2016年に設立しました。



### ○イマ、ココプロジェクト。：

受入先である牡鹿、雄勝、女川町の漁師さんの家に泊まり、漁村の暮らしを体験できるプログラムです。三食共に生活して、仕事も手伝い、地域の暮らしを体験することで、お金ではない価値交換を目的としています。

参加者は9割が首都圏の大学生で、最近では田舎の暮らしを体験したいという方や、水産業に興味を持って参加する方も増えました。異文化に触れることや漁村のコミュニティを知ること、自分の進ん

いく道を決める方も多いです。現在は、一年に一回必ず来てくれる方や、春のワカメ漁の手伝いなどでくる方など、年間100名の方がリピーターとして戻ってきてくれ、多くの参加者は地元の方と個人的なつながりができていきます。参加者は自分の居場所が増え、受け入れ先の漁師の方たちにもいい刺激になっています。



### ○かきのわ：

私たちは、交流人口を越えて「関係人口」を増やすことを目標としています。震災から年月がたち、徐々にイマ、ココプロジェクト。の参加者層が大学生ばかりになってきました。だんだん社会人のボランティア休暇が取りづらくなったのが目に見えてわかるようになったんです。

そこで、単なる観光ではなく、漁村の暮らしや漁師そのものの魅力を知ってほしい、関係性を作ってほしい…という思いから、なかなか宮城に来れないけど繋がってほしいという人のためにつくったプログラムです。

牡蠣の生産方法、漁師の顔、出荷方法、購入まで、一連の流れを知ってもらえるプログラムになっています。毎月牡蠣の成長レポートを受け取ることもでき、専任の漁師も選べます。また、メンバー限定の漁業体験プログラムにも参加できます。

このような具体的なつながりづくりをすることで、漁師も消費者のことを考えるようになります。消費者は作り手の顔や漁村の風景を知ること、より美味しく牡蠣を味わうことができます。



### ○ほやほや学会：

僕もスタッフも、宮城県に来るまで真ホヤを食べたことがなかったので、これは面白くて可能性のある食材だ!と思いました。

震災後、韓国へのホヤの輸出ができなくなったので、ホヤの国内消費を喚起するために、自分たちで何かできることがあるのではという思いから始めました。ホヤの認知度を上げるために漁師・行政・民間でイベントを開催したり、SNSでの発信、飲食店とのコラボ、水産学会で話したり…と、様々な事業を行っています。

また、ホヤの無限の可能性を伝える「ほやガイドブック」を作成し、飲食店の方に配りました。輸出が解禁したときのために、韓国語版のガイドブックも作成しました。

処理、調理方法など正しい知識を持ってもらうことでさらに美味しいホヤが食べれます。

(ほやガイドブックはHPからダウンロードできます!)



### ○視察研修：

石巻・女川に視察研修に来る企業・団体向けに、それぞれの目的に合わせてプログラムを組み、受け入れを行っています。自分たちの持っているコンテンツと、他団体の持っているコンテンツを組み合わせ、東日本大震災について学んだり、石巻や女川の魅力を体験できるプログラムをオーダーメイドでご提案しています。



### ○これからの目標：

いろいろな人が関わりを持って、それぞれが活躍できると感じる場所づくりをしていきたいです。

地域内外の多様な人が繋がりを持つことで、震災で多くのものを失ったけどこれだけのことができるようになった、となったらいいと思います。

## 一般社団法人ピースボートセンターいしのまき

住所：石巻市中央2丁目5-7  
電話・FAX：0225-25-5602  
メール：peaceboat@pbi.or.jp  
HP：http://pbi.or.jp/





## 取材日記



2月6日(水) 寄合処とやけの花を会場として、みやぎ地域ケアーズ主催「ケアカフェ」が開催されました。  
 ケアカフェは月一回とやけの花を会場として開催されており、毎回メンバーによる指ヨガ、インスピレーションアート、リンパケア、揉みほぐし、筆文字、ネイル、フットケアなど誰かのケアになる出店を行っています。

会長の伊藤清美さんは「お客さんにケアするのはもちろん、私たちも元気をもらい、お互いにケアしあっているイベントです。ここにくるといつも筋肉痛になるくらい大笑いします。これからも実家のようにほっこりできる場所を目指していきたい」とお話ししてくださいました。昨年2月、団体結成前に出場した「S(支え合い)-1グランプリ」にて、「おもせ賞」を受賞している同イベント。常に明るい笑いがあふれ、初めて来ても安心して過ごせるとも居心地のいい場所でした。これからもケアカフェは毎月開催されるとのことで、今後はメンバー以外の方の出店も行っていきたいそうです。



## イベント情報のお知らせ

### 3.11 忘れないウォーキングin石巻

○コース予定:

石巻駅→立町通り→内海橋→湊町→魚町避難タワー→日和大橋→南浜地区→がんばろう!石巻看板→日和山→いしのまき元気いちば→石巻復興まちづくり情報交流館→SSマツムラ(解散)

- 日時: 2019年3月11日(月) 集合時刻8:45
- 集合場所: JR石巻駅前広場
- 料金: 500円(当日ご持参ください) ※要事前申込み



●問・申込み:

特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興サポートセンター  
 電話: 090-8787-3873 メール: info@i-support.or.jp  
 ※申込み締切…3月5日(火)

### コミュニケーション基礎力講座

人が社会生活を送るうえで欠かせない、コミュニケーションの基礎的な考え方や道具について学びます。

内容は経営学、国際文化学、心理学といった学問から生まれた理論から、特に大切な部分だけを選び、演習を交えながら体験的に学ぶものです。もっと相手の話をうまく聴けるようになりたい方、上司部下や同僚など、職場での人間関係をよりよくするスキルを習得したい方、家族や友人など、日常生活のコミュニケーション力を高めたい方などにおすすめします。

講師: 原田博一さん((株)イミカ代表取締役、コミュニケーション・エンジニア)  
 コミュニケーション技術の専門性を活かした伴走型の事業支援を行う。

- 日時: 2019年3月7日(木) 13:30~
- 会場: 石巻市NPO支援オフィス
- 対象: 市民公益活動団体で活動している方 ※定員15名(先着順)
- 料金: 無料

●問・申込み:

特定非営利活動法人いしのまきNPOセンター  
 電話: 0225-23-0851 メール: npo@i-port.ne.jp



### ロックくんの編集後記



春の気配

今月もぼん舗を読んでいただきありがとうございます。寒い毎が続いていますが、だんだんと陽が長くなってきて、少しずつ春の訪れを感じますね♪

皆さんは今年の節分、恵方巻きは食べましたか?ロックが小さい頃あまり食べる文化はなかったように感じますが、最近はその年の恵方に向けて食べるのが恒例になっていますよね。恵方というのは、その年の福徳を司る歳徳神のいる方で、その方角に向かって事を行えば何事も吉とされているそうです♪ロックは食べるのに夢中で途中から方角のことは忘れてしまいました…。今もよろしくモグ〜♪

### 東日本大震災追悼 3.11のつどい

東日本大震災から丸8年、追悼の思いを込めて開催します。

●日時・内容:

2018年3月11日(月) 9:30~23:00(献花台は終日設置)  
 14:46 黙とう 15:00 追悼のパルーンリリース(700個)  
 16:30 キャンドル点灯(3600個)

●会場: 「がんばろう!石巻」看板付近(石巻市南浜津波復興祈念公園内)

●ボランティア募集:

3月2日(土) イオン石巻 灯籠キャンドル巻 不織布にメッセージ  
 3月3日(日) 4日(月) 5日(火) 多目的スペースK-BOX 灯籠巻  
 3月11日(月) 灯籠制作・会場設営  
 3月12日(火) 撤収作業

●問・申込み:

東日本大震災追悼3.11のつどい実行委員会  
 0225-23-9638/090-3643-1910(黒澤)



### 助成金のご案内

#### 第31回 NHK厚生文化事業団 地域福祉を支援する「わかば基金」

●募集部門:

◇支援金部門: 1グループにつき、最高100万円(10グループほどを予定)  
 《対象》国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ

◇リサイクルパソコン部門: ノートパソコン 総数50台程度  
 (贈呈台数 1グループにつき、3台まで)

《対象》パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害者に役立ち、活動の充実を図れるグループ

◇災害復興支援部門: 1グループにつき、最高100万円(5グループほどを予定)  
 《対象》

・東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた災害の被災地域に活動拠点がおり、福祉活動を通して、その地域の復旧・復興をすすめているグループ

・被災地に必要な新たな福祉事業を展開したい、と考えているグループ

●受付期間: 3月29日(金) 必着 ※郵送のみ受付

●申請・問い合わせ先:

NHK厚生文化事業団「わかば基金」係  
 東京都渋谷区神南1-4-1 電話: 03-3476-5955

